

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和7年度）

1 支援の内容及び効果等

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援状況
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援状況
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援状況

評価	左記の理由
B	・ 地域課題への取組については、広報支援に重点的に取り組み、広報紙未発行地域に働きかけ、新規発行に至った地域を増やすことができた（R6：8地域→R7：9地域）。また、全地域のふれあい喫茶等において、スマホ相談会を開催し、DX化支援にも取組んだ。 ・ つながりの拡充については、「浪速区町会加入促進アクションプラン」に基づき、町会未加入である市営住宅を調査し、働きかけを試みた。（加入には至らず。） ・ 組織運営の取組については、地域の会計担当者を対象とした補助金説明会を開催するとともに、予算決算作成に向け、計算ソフトの活用サポートを行い、全地域における運営委員会の開催を支援した。

評価項目

「事業の実施体制等」

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況

評価	左記の理由
B	・ 業務責任者（アドバイザー）と支援員による一体的な体制を構築することにより、地域実情・課題の把握に努めるとともに、地域からの相談にも柔軟に対応できている。 ・ 区役所及びまちづくりセンターでの情報共有を定期的に行い、連携している。 ・ 災害時の自助・共助の推進に向け、マンション防災の取組支援を積極的に行うとともに、まちづくりセンターの発案により、浪速区防災訓練において、4地域の地域防災リーダーと連携し、避難所ガイドツアーを実施した。

2 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

アンケート調査

評価	左記の理由
B	・ 地域活動協議会へのアンケート調査では、「まちづくりセンターが、地域の実情やニーズに即した支援を実施していると感じる割合」（100％）など、全地域より支援内容を高く評価されている。

3 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・ 広報紙未発行地域に働きかけ、新規発行を促すとともに、町会未加入である市営住宅の調査を行うなど、地域課題に適切に取り組む、一定の成果を上げたことについては評価できる。 ・ 区が推進している災害時の自助・共助の取組について、マンション防災の啓発に積極的に取り組むとともに、地域防災リーダーと連携して新たな取組に挑戦したことは評価できる。 ・ 令和8年度は、令和7年度の経験を活かし、新たな企画を立ち上げ、地域との連携を強化し、地域課題解消に向けて取り組むことを期待する。

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。